



森蘭齋《龍虎之図・三国志武人之図屏風》六曲一双 妙高市指定文化財 妙高市蔵

NMNC **にいがた**  
文化の記憶館  
令和2年度  
企画展示

**新潟県文化祭**

# 江戸のリアリズム

# 森蘭齋

2020  
8/22 (土) → 11/23 (月・祝)

開館時間 10:00 ~ 18:00 (入館は17:30まで)  
休館日 月曜日 (9/21、11/23は開館)、9/23 (休)  
入館料 一般500円、学生〔高校生以上〕300円、中学生以下無料  
※20名以上の団体は、各料金から2割引き

主催 にいがた文化の記憶館、新潟県、

公益財団法人  
新潟県文化振興財団、**新潟日報社**

共催 新潟日報美術振興財団、**NST**、**BSn新潟放送**

共後援 妙高市教育委員会

協力企業 田村紙商事株式会社

協力 故 吉沢久子氏

展示協力 新潟県立図書館

NMNC **にいがた**  
文化の記憶館  
新潟日報メディアシップ5階  
TEL. 025-250-7171





# 江戸のリアリズム 森蘭齋

現在の妙高市新井に生まれた森蘭齋(1740～1801年)は「南蘋派(なんぴんは)」の絵師として江戸中期に活躍しました。越後新潟で五十嵐俊明(1700～1781年)に画を学んでいたとき、南蘋派の熊代熊斐(くましろ・ゆうひ、1712～1773年)の画を見て、南蘋派入門を決意。宝暦13(1763)年頃から長崎でその技法を学びました。

森蘭齋『蘭齋画譜竹部巻二』天明二年 新潟県立図書館蔵



「南蘋派」は、中国・清時代の宮廷画家沈南蘋(しん・なんぴん、1682～1760年?)が長崎滞在時に残した技法で、写実的で鮮やかな彩色の花鳥画を特徴とします。この技法は大流行し、同時代の円山応挙や伊藤若冲に影響を与えたといわれますが、現在では知る人ぞ知る流派です。

天明2(1782)年に、蘭齋は版本『蘭齋画譜』を出版。この画譜により、南蘋派が広く知られることとなりました。

本展では生誕地・妙高市に残る作品を『蘭齋画譜』とともに展示し、江戸のリアリズム絵師・森蘭齋を展覧します。



森蘭齋『海棠春帯鳥図』制作年不明 個人蔵

## 関連イベント

横山秀樹氏による講演会

# 10/6 (火) 「南蘋派の画家 森蘭齋」(仮題)

要事前  
申し込み  
先着順

講師 / 横山 秀樹氏 (元新潟市新津美術館長)

日時 / 2020年10月6日(火) 午後2時～3時30分(予定)

会場 / 新潟日報メディアシップ6階 ナレッジルーム

定員 / 45名(先着順、要事前申し込み、定員に達し次第締め切ります)

参加費 / 500円(会期中有効の観覧券付き)

※当館パスポート会員は無料

新型コロナウイルスの感染拡大状況によって、中止または延期となる場合がございます。

### お申込み方法

- ◆往復はがき、FAX(025-250-7040)、メール(kiokukan@honey.ocn.ne.jp)のいずれかにイベント名と「①氏名・読みがな、②郵便番号・住所、③電話(FAX)番号」をご記入の上、当館までお送りください。
- ◆当館ホームページのお問い合わせフォーム、当館受付でもお申込みできます。

にいがた文化の記憶館 検索

## ■担当学芸員による解説会(3回とも同じ内容です)

9/19(土)、10/17(土)、11/14(土) 各回とも14:00～15:00(予定) ※申込不要(要当日観覧券)

※関連イベントは、新型コロナウイルス感染拡大状況により予定を変更する場合がございます。変更の際は当館ホームページやFacebookでお知らせします。

## アクセス

### ■交通のご案内

新潟駅から タクシー約5分 / 徒歩約15分

新潟空港から タクシー約15分

### ■メディアシップ第1・第2駐車場(24時間営業)のご案内

第1駐車場〔メディアシップに隣接〕: 約60台

料金 220円 / 30分(夜間最大1,000円)

第2駐車場〔メディアプラスに隣接〕: 約90台

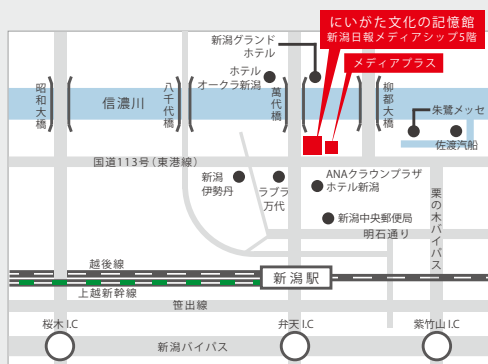
昼間料金 200円 / 30分(昼間最大700円)

夜間料金 200円 / 60分(夜間最大300円)

### 【メディアシップ第1・第2駐車場限定サービス券発行について】

入館料以外に、1,000円(税込)以上のお会計で1時間サービス券、

3,000円(税込)以上のお会計で2時間サービス券を発行します。



### 森蘭齋の師・五十嵐俊明作品展のご案内

#### 生誕320年 五十嵐俊明 展

会期 | 11/14(土)～12/27(日) 開館時間 | 9:30～17:00

休館日 | 月曜[11/23は開館]、11/24(火)

会場 | 新潟市歴史博物館 みなとびあ(中央区柳島町2-10)

TEL | 025-225-6111 URL | http://www.nchm.jp/

### 同時開催のミニ展示

新潟日報社所蔵資料公開 坂口安吾と新潟日報  
10/6(火)～11/23(月・祝)

### 次回企画展示のご案内

没後70年記念 相馬御風のうたのころ  
12/12(土)～3/21(日)

※展覧会名やイベント名は仮称です。会期や事業内容は変更することがあります。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当館では換気と清掃の強化、職員のマスク着用、受付での飛沫防止シート設置、タッチパネルの使用中止などを行っております。混雑時には入館を制限することがあります。

### 【ご来館を予定されている方へのお願い】

- ・展示室内ではマスクの着用をお願いします。
- ・ご入館前手指消毒や手洗いに協力ください。
- ・ご入館時に「来館者名簿」へのご記入をお願いします。(感染者発生時、保健所の感染経路把握に協力するためです。ご提供いただいた情報はこの目的以外には使用しません)
- ・展示室内では互いに適切な距離を保つよう、お願いいたします。また、室内での会話はお控えください。
- ・発熱や風邪の症状がある方は、来館をお控えください。